

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	東大阪市立産業技術支援センター	指定期間	7 年度～ 11 年度
施設所管所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	指定の方法	単体施設を指定管理
		連絡先	06-4309-3177
設置目的	中小製造業等に対する技術支援などにより、産業の育成及び振興を図ることを目的とする。		
施設内容・業務内容等	市域の産業の振興のため、製造業等が抱える様々な技術課題について相談に応じるとともに、センターに設置している測定機器等を低廉な価格で利用に供するなどにより、市内製造業等の製品の高付加価値化、技術の高度化への支援を行う。		
指定管理者	公益財団法人 東大阪市産業創造勤労者支援機構	連絡先	06-6785-3325
人員体制	正規職員	0 人	パート・アルバイト 人 0 人 その他 8 人

2 管理運営状況等

年度		実績			今年度(予算)	次年度(見込)
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
管理形態		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数		274	267	266	265	267
指定管理委託料(千円)		54,024	54,736	47,790	47,501	47,372
利用状況	1 相談件数	1,758	2,068	1,879	補足説明	
	2 機器貸出件数	2,651	3,103	2,838	補足説明	令和7年4月より利用料金制に移行、加算制度(営利・市外)運用変更
	3 ものづくり教室受講者数	50	32	0	補足説明	講師確保の点から開催できず(令和8年度は開催見込)

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	8 点	/ 10点	総合評価	A
4(ii) 要改善事項	-6 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	3 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	0 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	78 点	/ 80点		
上記の合計(総合点)	83 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	施設の設置目的に沿った事業が適切に実施され、技術相談・機器利用件数も一定の水準を維持していることは評価できる。今後も、貸館を含むいっそうの利用者の増を図るとともに、収支バランスの強化、業務改善及び接遇研修の実施などに向けてのさらなる主体的な提案及びこれらによる管理運営の充実を期待する。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(i)～(iv)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(i) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
貸館事業における利用率の向上	貸館事業の利用率向上に向け、ウェブサイトのリニューアルやPR強化の取組が実施され、利用件数は年間229件と前年度(204件)から10%以上増加した。貸館の利用実態や利用者層を分析するとともに、SNS等も含めた情報発信の強化など、潜在的な利用者への周知を図り、今後も利用率の向上につなげられたい。	4
機器利用件数・技術相談件数の維持・収支の改善	技術相談1,879件、機器利用2,838件と、過去十年間の平均と比較すると約10%増の高水準となっている。また、利用料金収入も計画どおりに増加している。	4

／5点

／5点

＜評価基準＞
5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおよそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していないが、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していないが、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、取組も評価できない。

(ii) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
経理事務の属人化・確認体制について	経理事務の属人化・確認体制が不十分であることが課題であるが、経理・総務経験者の新たな配置により、体制が強化された。業務手順の明確化・合理化を令和8年度中に完遂されたい。	-3
窓口対応職員の接客研修の実施について	令和7年度は窓口対応職員の接客研修が実施されていなかったため、書籍やオンライン教材等を活用した自主研修などを指定管理委託料の範囲内で実施可能な方法で令和8年度中に実施されたい。	-3

／-5点

／-5点

＜評価基準＞
0点:改善し、求めていた状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めていた状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(iii) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
	セキュリティ強化に向けた館内への防犯カメラ設置を、費用節減の上で実施したこと。 収入確保と利用者便宜のため、「試料調整装置一式」について新たな料金設定を行ったこと。	3

／5点

＜評価基準＞
5点:模範的かつ他施設への展開・波及効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(iv) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
		0

／5点

＜評価基準＞
該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)
	インシデントや施設管理上の課題が生じた際には、エビデンスや時系列表を作成し、迅速かつ丁寧に市へ報告できている。

配点対象外

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示):

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点	施設所管所属のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組みなど
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (97 %)	当該施設の設置目的を理解し、協定書・仕様書に基づいた適切な運営が行われている。また、専門的な知見を活かした技術相談や測定機器の提供等により、施設の設置目的に沿った事業が適切に実施されている。また、施設・設備の維持管理や危機管理についても概ね適切に実施されている。今後も安全管理に必要な研修等を着実に実施し、安定的な施設運営に努められたい。
B 管理・運営 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (98 %)	人員配置、施設・設備の維持管理、会計処理及び再委託業務について、概ね適正に実施されている。また、退職者の補充も行えている。一方、経理事務の属人化や複数職員による確認体制、職員の定着等について課題が見られることから、業務の共有・引継ぎ体制の充実等を図り、安定的な管理運営に努められたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A (93 %)	利用者に対する公平・平等なサービス提供が行われるとともに、専門的な知見を活かした相談対応等により、利用者満足度の向上が図られている。一方、接遇研修等の職員の能力向上に関する取組について一部課題があるため、今後の充実を期待する。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S (100 %)	利用者アンケートを適切に実施し、結果の分析・公表及びサービス改善につなげる取組が行われている。利用者満足度も高く、利用者の声を反映した管理・運営が適切に行われている。施設の情報発信について、さらなる強化に取り組まれたい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S (97 %)	技術相談及び機器利用件数については、従前の高い水準を維持している一方、貸館の利用率については依然として低迷している。今後は、利用者ニーズの分析を踏まえ、ホームページやSNS等による情報発信、技術相談から機器利用につなげる取組等を強化し、施設利用の促進と運営効率の向上を図られたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S (100 %)	関係法令や各種規則等を適切に把握・遵守し、労務管理、環境配慮、コンプライアンス、個人情報保護等について適正な管理が行われている。引き続き、法令等の改正や各種通知の情報共有を図り、適正な施設運営に努められたい。